



第19回「中曽根康弘賞」の受賞者を決定しました

中曽根平和研究所（会長：麻生太郎、理事長：中曽根弘文）は、このたび第19回「中曽根康弘賞」の優秀賞1名、奨励賞2名を決定しました。

■ 「中曽根康弘賞」とは

新しい国際秩序の創造、地域経済協力体制の構築、飢餓・貧困・環境・エネルギー問題など地球規模の課題に果敢に取り組み、且つ国際的に業績をあげている若い世代を対象として2004年に創設された表彰です。多様性（ダイバーシティ&インクルージョン）を尊重し、その努力を讃えつつ、更なる活動を奨励することで真に平和で豊かな国際社会の実現に資することを目的としています。

表彰は優秀賞1名と奨励賞若干名を基本とし、それぞれ原則として個人ですが、場合により団体も認めています。受賞者には本賞（盾）及び副賞（優秀賞100万円、奨励賞50万円）を授与しています。表彰の実施には東海旅客鉄道株式会社、トヨタ自動車株式会社、日本製鉄株式会社、東日本旅客鉄道株式会社の各社から協賛をいただいています。



■ 第19回の受賞者

優秀賞： おがわ しんご 小川 真吾氏（認定NPO法人テラ・ルネッサンス理事長/海外事業部長）
奨励賞： あいざわ のぶひろ 相澤 伸広氏（九州大学比較社会文化研究院准教授）
ジュリオ・プリエセ氏（オックスフォード大学講師/ヨーロッパ大学大学院特任教授）

■ 授賞式の日程

日時：2023年11月29日（水） 午前10時から

場所：ザ・キャピトルホテル東急（東京都千代田区2-10-3）

連絡先

中曽根平和研究所 事務局 南雲（なぐも）、美濃（みの）

（E mail） gnagumo84@npi.or.jp, smino23@npi.or.jp

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-2-2 虎ノ門30森ビル6階 （TEL）03-5404-6651

■受賞者について

優秀賞：小川 真吾（おがわ しんご）氏

年齢：48歳 国籍：日本

現職：認定NPO法人テラ・ルネッサンス理事長/海外事業部長

選考理由：

小川氏は認定NPO法人テラ・ルネッサンスの理事長として全事業を統括するとともに、22年間にわたり支援活動の第一線で従事し、ウガンダ、コンゴ、ブルンジで事業を立ち上げたほか、世界各地の紛争被害者や脆弱な人々数万人に寄り添った支援活動を実践してきている。

新型コロナウイルスの感染拡大やウクライナ危機など世界情勢、時事に応じた活動を展開し、世界的な課題の解決に貢献してきた一方、支援活動の経験を元に自ら支援哲学を確立して学術研究も進めている。講演活動や書籍の執筆による情報発信、同業者・若者への助言を通して多くの人に自身が得た知見や哲学を共有するための活動も行っており、世界各地の活動地域で平和と安全の確保に寄与している。

奨励賞：相澤 伸広（あいざわ のぶひろ）氏

年齢：47歳 国籍：日本

現職：九州大学比較社会文化研究院准教授

選考理由：

相澤氏は、インドネシアの専門家として国内外で活躍する若手研究者の第一人者である。相澤氏は、従来の日本の東南アジア研究手法では傍流とされていた対外政策について「地域大国」インドネシアを中心に、国内政治や社会変化の論理を踏まえながら総合的に論じるなど、地域研究の手法から新しい視点を示している。また、インドネシアだけでなく東南アジア全体に視線を向け、日本、米国、中国との関係も含めて比較的大きな視点から論じており、東南アジアに対する米中競争、日米協力が注目されている現在、その業績は評価すべきものである。

また、相澤氏はインドネシアの内外政策や東南アジア全般の国際関係について対外発信の面でも顕著な功績をあげており、学術的な見地だけでなく、社会的な見地からもその業績はきわめて高く評価できる。

奨励賞：ジュリオ・プリエセ（Giulio Pugliese）氏

年齢：40歳 国籍：イタリア

現職：オックスフォード大学講師/ヨーロッパ大学大学院特任教授

選考理由：

プリエセ氏は、現在オックスフォード大学講師及びヨーロッパ大学大学院特任教授（ジャパン・チェア）を務めており、世界的に著名な日本外交の研究者である。日本への留学歴や日本の研究者との幅広い交流などを通じて、イギリスおよびヨーロッパにおける日本外交研究の拠点となって活躍しており、バランスのとれた的確な日本外交の分析は信頼できるものである。

これまでヨーロッパにおける日本外交研究は研究者の数が限られ、視点に偏りがあつたり最先端の動向をカバーしていない等、研究水準が十分でないこととみなされることもあったが、プリエセ氏はヨーロッパを代表とする教育研究機関において日本外交に関する教育を行う等、ヨーロッパにおける日本外交の研究水準の向上に大きく貢献している。